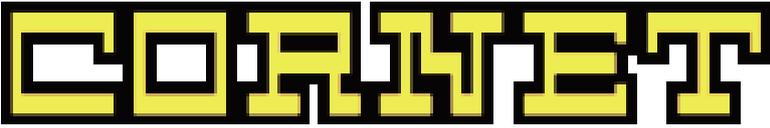


/作成日		発行
2017. 09. 01 No.266		(株)秋山製作所 企画・デザイン室

プリンセスブーム再び！

爽秋の候、いかがお過ごしでしょうか、内庁は秋篠宮家の長女眞子様(25)と、国際基督教大学時代の同級生の小室圭さん(25)との婚約内定を9月3日に正式発表すると決めました。当初は7月8日に予定されたが、九州北部豪雨で大きな被害が出たことに配慮し、お二人の希望で延期されていました。ジュエリー業界では以前から、皇室のプリンセスフィーバーでパールブームがありました。紀子様の真珠ネックレスブーム、雅子様の真珠のブローチ(当社の商品も2型着けてくれました)。皇室にはお印と言う身の回りの品に用いる徽章があります。雅子様はハマナス、愛子様はゴヨウツツジ、紀子様は檜扇菖蒲、眞子様は木香茨、佳子様はゆうな、など色々な花の徽章が用いられています。話を戻しますが、眞子様のお印は木香茨と言うこともありデパートのジュエリーコーナーなどでは早くも、このおめでたい発表にバラシリーズの販売コーナーを設置している先もあります。またなぜ女性はバラの花が好きなのか？綺麗だからと答えたくりますが、科学的な研究によりバラの香りが女性を美しくするからと言う事もあるようです。このようにバラの商品は女性の存在感や美しさ華やかさを引き立ててくれるアイテムです。プリンセスフィーバーのお祝いとして、当社のバラシリーズ商品も各種ご用意しておりますのでこの機会に是非お客様へご提案して頂きたいと思えます。(T. I)



敬老の日の始まり

敬老の日は、兵庫県多可郡野間谷村(現在の多可町)で提唱、行われていた敬老行事の「としよりの日」が始まりとされています。

その主旨としては、「老人を大切に、お年寄りの知恵を借りて村作りをしよう!」と、農閑期にあたり、気候も良い9月15日を「としよりの日」と定めて、敬老会などを開いていたそうです。

小さな村で始まったこの慣習が、1950年からは、兵庫県全体で行われるようになり、その後全国へ広がっていきました。

その後、「としより」という表現はあまり好ましくないということで、1964年に「老人の日」と改称されました。

その後、発祥地でもある兵庫県多可郡野間谷村で、国に対して、「こどもの日や成人の日があるのに「敬老の日」がないのはおかしい!」と声を上げ続け、「老人の日」と改称された翌年1965年に「敬老の日」とする国民の祝日が制定されました。

これからも「敬老の日」には、祖父母に感謝の気持ちを伝えていきましょう♪(M. S)

トマト効果

寝苦しい熱帯夜が続くと、辟易してしまいますが、夏に寝付けなくなる原因は“暑さ”だけではありません。実は、日中の強い日差しも睡眠の質を落とす原因で、体内時計をコントロールするホルモンが少なくなり、睡眠不足につながります。

アメリカ大学の研究によると、睡眠時間が6時間以下の人は、風邪や、脳卒中のリスクが約4倍になると言われています。

夏の睡眠不足を防ぐには、夕食の際にトマトを食べると効果的だそうです。トマトに含まれているカリウムには利尿作用があり、尿が出る際に余分な熱を奪うので、体が適度に冷えて寝やすくなります。

9月は、8月のように猛暑日が続くことはないと思いますが、暑い日はあるので、「睡眠の質の向上」のために、夕食にトマトを食べてみてはいかがでしょうか。(M. S)

